

2024年2月15日
企業防災専門委員会
事務局

2024年度 企業防災専門委員会 活動計画について（案）

2024年度は、南海トラフで過去発生した大規模地震である昭和東南海地震（1944年12月）から80年、直下型地震の阪神・淡路大震災（1995年1月）から30年の節目となる年である。

また、至近では、2024年元日に発生した能登半島地震、中部地域において2023年6月に愛知県東三河地域を中心に大きな被害を出した豪雨など、ますます地震をはじめとした自然災害のリスクが高まってきている。

現在「南海トラフ地震防災対策推進基本計画」（2014年3月28日中央防災会議決定）の策定から10年が経過し、見直し作業が進められており、今後、内閣府より、南海トラフ巨大地震の被害想定や防災対策の方向性などが公表される予定である。

このような中、2024年度は、『自分目線・自分ごと』をキーワードにして、見直し内容の理解促進や過去の災害の教訓や学びを生かせるよう、甚大な被害が想定される「南海トラフ地震」をはじめとする自然災害に対する意識向上や減災力の強化に取り組んでいきたい。

【2024年度活動内容】

1. BCP事例紹介等による委員各社のBCP高度化【継続】

- ・委員会社の事業継続の取り組み事例や課題の共有することで、各社のBCPをより深化できるよう、継続実施する。
- ・あわせて、サプライチェーン（中小企業）等を含めた、BCPの実効性が向上するよう、取り組みを継続実施する。

2. 南海トラフ地震等に対する減災力の強化【新規】

- ・南海トラフ巨大地震の被害想定の見直しの公表にあたり、変更点等について、理解を深める。
- ・加えて、防災対策の方向性を踏まえ、災害を『自分ごと』として捉えられるよう、個人主体の『LCP（Life Continuity Planning / 生活継続計画）』等についても、勉強する機会を設ける。

3. 過去の災害の教訓から学ぶ【継続】

- ・東日本大震災の教訓を自組織に生かすため、復興現場の今を視察する『東北フィールドスタディ』の対象者を拡大して実施する。

2024年度 企業防災専門委員会 活動スケジュールについて（案）

第0回 2024年5月16日 11時00分～（予定）	・東北フィールドスタディ（事前説明会）
第1回 2024年5月23日 ～5月24日	・東北フィールドスタディ（視察会） — 実施概要（案）は、資料5のとおり
第2回 2024年7～8月頃	・BCP事例紹介 2社予定 （日本ガイシ様、東京海上日動火災保険様） ・東北フィールドスタディの実施報告 ・防災関連情報の共有 — 至近の情勢やトピックの共有・意見交換 など
第3回 2024年11～12月頃	・外部講師を招いての勉強会 — 南海トラフ巨大地震の被害想定や防災対策の 方向性、能登半島地震の教訓と学び など
第4回 2025年2月頃	・BCP事例紹介 2社予定 （東邦ガス様、徳倉建設様 ※名簿順） ・次年度活動計画 など

※現時点の案であり、第2回以降の開催時期・内容については、今後の諸情勢（内閣府からの公表のタイミング等）によって期中で変更する可能性があります。

<今後の活動に向けてのお願い>

- ① 2024年度「東北フィールドスタディ（視察会）」開催にあたり、参加を希望される方は、資料5「東北フィールドスタディの開催について（参加申込）」をご確認の上、参加申込書を提出願います。
- ② 企業防災専門委員会について、今後取り上げてほしい内容や現在の取り組み内容について意見・要望等がございましたら、事務局までご連絡ください（様式自由・メールでの返信可）。

☆上記2点について、専門委員会終了後、別途メールを送付させていただきますので、**3月8日（金）**までに、竹前へご回答（返信）願います。